

トモウロー

※トモウローとは：人生には色々泣けることもあるけど、明日に向かって頑張ろう！
という意味を込めて、利用者の方が考えてくれました。

就労準備支援センターは、自分のペースで
通いながら就労に向けて準備ができる場所です。

- ・働きたいけど経験がなくて何からすれば
いいのかわからない・・・
- ・しばらく休職していてズラクがあり心配・・・

など、不安のある方が前に進めるよう一緒に
考えていきます！



👉満開の桜…！

お花見

今月のリフレッシュは「花見」でした。

皆で料理やお菓子を作って錦町公園に行き、お花見をしたり楽しくゲームをしたりして遊びました。料理はりんご飴やチョコバナナ、焼きそばなど多種多様な物が並び、思い出に残る花見となりました。



👉作った料理&お菓子



👉皆でゲーム中…

ボランティア活動の紹介

作業中の写真



高齢者介護施設で月2回程、不要になったタオルや服を介護で使えるように小さく切るボランティア活動をしています。

今回切った布がどのように利用されているかインタビューしてきました。

インタビューをしてみて印象に残ったことは、切った布が毎日かなりの量が使われているということです。

仕事の内容や、やりがいなどについてもお話を聞くことができて、とても参考になりました。

初めてインタビューをしてみて、もっと色々聞いたり深掘りしたかったのですが緊張して聞けなかったのが残念です。また、聞いたことを文字に起こすのが難しかったです。

施設職員の方にインタビューをしました



Q、どこから布を集めていますか？

A、近隣の方や、以前施設を利用していた方、退園した方に利用していたシーツやタオルや服を寄附してもらっています。

Q、切った布はどの様に使っていますか？

A、生地によって使い分けています。水を弾くような生地は施設内の掃除に利用していて、綿100%の物は利用者さんの排泄ケアに利用しています。

Q、1日にどのくらい使用しますか？

A、利用者90人中70人はケアが必要なので毎日となると大量に使用します。

職員だけでは作る時間が足りないなので、ボランティアの方に協力してもらって大変助かっています。

Q、普段どんな仕事をしていますか？

A、以前は現場で介護をしていましたが、現在はスタッフの労務管理や利用申し込みをされる方の環境の調査やサービスの調整をしています。

Q、やりがいとはどんなところにありますか？

A 介護職に就いたころはおむつ交換が早く出来たなど、技術面でしたが年数を重ねるごとに変わってきました。今は、本人の要望をどう実現させるかという支援がうまくできた時かなと思います。

編集後記 制作した利用者さんから

表面の通り、花見を行いました。当日は天気にも恵まれた中で満開の桜を見ることができ、いい体験になりました。

Rさん

デザインや写真選びについて、自分の納得するものを作るむずかしさを感じた時間でしたが、楽しさもありました。

Aさん

今回のインタビューで自分たちが切った布が実際に役立っていることを聞いたのが嬉しかったです。

Sさん

仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」 就労準備支援センター

〒980-0802

宮城県仙台市青葉区二日町2-1

キムラオフィスビル 7階

※1階がたいやき屋さんのビルです

ご相談は 022-395-8865 わんすてっぷまで

